

《 歩いて渡ろう！神戸大橋 with ドクターサニー 》

4/6(日)に行いました 《歩いて渡ろう！神戸大橋 with ドクターサニー》の様子が、4/7(月)の神戸新聞朝刊に掲載されました。



歩いて神戸大橋を渡る患者や家族たち

人工関節患者ら リハビリを兼ね 神戸大橋を踏破

神戸・ポートアイランドの整形外科「あんしん病院」が、患者にリハビリの成果を実感してもらい、運動や外出のきっかけにしてほしい、との狙いで初めて企画。「変形性膝関節症」などの治療で、人工関節を使う患者らに参加を呼び掛けた。スタート地点は同病院。参加者らはスタスタと軽快に歩いたり、一歩一歩踏みしめるように歩いたり、それぞれ自分のペースを保ちながら神戸大橋を渡り、JR三ノ宮駅北側のゴールを目指し

景色半日「自信がついた」
海、山、街の景2時間
楽しみ

た。去年とおどしに両膝を手術した同市中央区の亀井いね子さん(70)は「立ってられない痛みに苦しんだが、調子よく歩けてうれしい」。昨年、両膝を人工関節にした同区の国則萬千子さん(80)も「こんなに歩けるなんて夢のよう。自信がついた」と喜んだ。あんしん病院の岩崎安伸院長(56)は「元気に歩けると気持ちも前向きになり、神戸に元気な高齢者が増える。今後も続けたい」と話していた。

ポートアイランドー三宮の5キロ

膝や股関節、腰などの手術を受けた患者らが、リハビリを兼ねて約5キロの踏破に挑戦するウォーキングツアー「歩いて渡ろう！神戸大橋」が6日、神戸市中央区であった。60〜80代の患者とその家族合わせて約40人が参加し、目前に広がる海、山、街の景色を楽しみながら、約2時間半の道のりを歩いた。
(阿部江利)